

資料 5

令和4年度第2回男女共同参画計画策定委員会 事前アンケートに係る回答

No.	意見内容	回答
1	性的マイノリティの方たちが生きづらい理由の一つに、社会がジェンダーにとらわれていて、ジェンダーに基づく生き方を要求されることが挙げられる。 こうしたことや、これまでの委員会の意見から、性的マイノリティに対する明確な言及を第4次の計画（基本目標Ⅰ～Ⅳのすべて）に入れるべきだと思われる。	資料3のとおり、次期計画では新たに重点目標として、性的マイノリティに関する目標を掲げたいと考えております。
2	取組が本町において年々認知されつつあることは効果として捉えたいが、会議（委員会）設置主旨や行政の取組が思う程に広がっていない原因（要因）を考えると、もう少し焦点を当て取り組んでいく事も大切だ。 例えば、女性管理職の登用、充て職にこだわらない委員会の設置、女性が積極的に町の行政に参加している（いく事）が大切だ（参加が意識を変えていくと思う）	女性管理職の登用においては、男性女性の隔たりなく、適性を見極め、人事を行っております。現在は男女の区別することなく、平等に重要な職務を担当させており、外部の研修を受講させたりして、人材の育成を努めているところです。 また、審議会等の女性登用数については、今後も推進員を中心にさらに強化していく予定です。
3	「障がい者、高齢者、生活困窮者、ひとり親家庭に対する就労支援に対する取組」等	現状として、現行計画でも重点的に取り組むべきテーマとして、重点目標に掲げており、実際に介護予防事業や障がい者の社会復帰支援、ひとり親家庭への医療費助成等を行っております。また、次期計画でも重点的に取り組むべき事項だと考えておりますので、引き続き次期計画でも継続する予定です。
4	学校の授業などで取り組めれば一番良いと思う。	現在、学校の道徳の授業の中の人権教育の一環で、男女平等教育に取り組んでおります。今後も引き続き、男女平等に基づく授業・生活指導を継続するとともに、性的マイノリティに関しての教育についても検討していく必要があると考えております。
5	農業の分野では、農業＝力仕事や機械を使つての作業など女性が苦手とする分野が多々あるため女性だけで農業をすると大変な事が予想される。 しかし、新発田市では女性3人が農業法人を作り活動していると聞く。 聖籠町でも女性が活躍できる場が出来れば良いと思う。 特に、女性の新規就農者が出てくると良い。	町では、農業で女性が働きやすい環境づくりとして、家族経営協定の普及促進を進めているところですが、現状として、締結に至らないケースが多い状況にあります。 そのため、まずは家族経営協定の普及から今後も重点的に取り組み、普及が進んだ後の取組みとして、岩淵委員の意見を参考にさせていただければと思います。
6	男女共同参画を知らない方は多いが、男女平等であれば分かる方が多い。 （年配の方等） 女性区長を増やすことで、区長会議で、男女で議論していただければ、町の活性化に繋がると思われる。 私も、4年間区長を勤めましたが、聖籠町の女性区長は2～3人だった。 今年は、旭ヶ丘区長、副区長を女性の方にお願ひし、順調に進んでいます。 他の集落も女性区長が多く誕生することを願っている。	集落区長の女性数を増やすということは、大変重要なことだと思っております。しかし、自治会に関することは、あくまで各集落が決めることとなっているため、町からアプローチすることはできませんが、町民の意識啓発が進む中で、女性区長の増加につながるよう、今後も広報等の意識啓発に努めたいと思います。
7	集落行政等における役員の選任（特に長となる人）は長年の慣習により男社会となっていました。この慣習を打破する為の環境づくりが必要と思われます。	

8	<p>・ジェンダー（学校教育） ・家庭の役割分担 次の世代へつなげるためには必要不可欠である。</p>	<p>学校での取り組みとして、男女の役割の先入観をあたえないよう、代表児童の選定などでは、男女平等に選出しています。 また、女子生徒の制服に関して、スラックスを取り入れたということもあり、学校側でもよりジェンダー意識が高まっていると感じています。 また、家庭の役割分担ですが、町が家庭の事情へ踏み込むことは難しいものがあるため、広報等での意識啓発を行っていくことにより、各ご家庭の役割分担意識を変えていきたいと考えております。</p>
9	<p>1. 聖籠町における男女共同参画の取り組みを町民に意識してもらうことを目的に、メディアを活用したり、新潟県出身の著名人による講演会等を開催し少しでも居住者に認知度を高めてもらうことが必要ではないかと思われる。</p> <p>2. 弊社では、業務上、全社員に理解・実施してもらう重要な事案については、社長が説明等をするともに、部長級、課長級の定例会議体において説明するほか、特に個別の対応が必要な事案については、個別に説明会を実施している。 特に法令やコンプライアンスに関係して対応しなければならないことは、部門横断的に連携をはかり、遺漏がないよう対応している。</p> <p>3. 10/18の第1回策定委員会開催時に配布された資料2では、次期計画で取組むべき重点課題(事務局案)として、「庁内の推進体制を新設」とあるが、聖籠町において、男女共同参画計画を推進する「聖籠町役場」として、現行の体制がどのようなもので、今後どのような推進体制にするのか、お教え願いたい。</p> <p>4. また、聖籠町役場内において、把握している「出生時育児休業(産後パパ育休)」を取得している男性職員数をお教え願いたい。</p>	<p>1. 現行計画では、定住自立圏（新発田市、胎内市、聖籠町）で、著名人によるセミナーの共催を行うことで対応しており、事業費負担や集客等でのメリット等を考え、今後も町単独事業ではなく、定住自立圏で取り組んでいきたいと考えております。 2. 今後の推進体制充実への参考とさせていただきます。 3. 資料3のとおり 4. 今までに、出生時育児休業を取得した男性職員はいません。</p>
10	<p>聖籠町でも地区によっては男女間の不平・不公平について意識の違いがある。 特に高齢者が多い地区は往々にして、昔ながらの慣習・風習のせいなのか、この仕事は女性がやるものなどの意見を耳にする。</p>	<p>令和3年度町民意識調査においても、「聖籠町において、女性は男性よりも地位が低い、または立場が弱いと思う」と答える人の割合が蓮野、山倉、亀代地区と比較したとき、蓮野地区（35.5%）、山倉地区、（22.4%）、亀代地区（20.4%）と蓮野地区がほかの地区より10%以上高いという結果が出ております。このことから集落別での意識の違いがあると実感しております。 次期計画でも引き続き意識啓発を継続することで対処していきたいと考えております。</p>
11	<p>① 聖籠町の「男女共同参画」という用語の認知度を約48%の人が知らない。 ② 聖籠町で「男女共同参画」が実施されていることを約80%の人が知らない。 もっともっと周知度を上げてほしい。町の取組についても周知度を上げる必要がある。そのためにはどうしたらよいか、考えていく必要がある。 また、交通安全教室やその他の子どもに係るもの（学校での通知表のコメントやプリント類の把握等）はすべて母親になりがち。 もっと柔軟であってよい。</p>	<p>次期計画でも引き続き課題となってくるところなので、広報の手法等、検討していきたいと思っております。</p>

12	<p>各世代での意識改革がより一層必要この十年ほどで、近所のスーパーの購買層に変化が見られ、独身男性や小さいお子さんを連れてお買い物をしている男性を多く見かけるようになった。</p> <p>しかし、おそらくは聖籠町でのみ生活をしてきた方々を中心に、意識や慣習が固定的性別役割に偏っている様子も未だある。</p> <p>子どもは園や学校で、保護者は参観授業で、職場で、高齢の方々も職場や地域で学ぶ機会をつくっていく必要がある。紙やWeb上の広報は限定的であるので、各種イベントに向かいの広報活動を積極的に行うのはどうか。農業に従事する方にはJAとの連携を図るのも有用ではないだろうか。園や学校での取り組みは町として行い、教育施策の重点として載せれば教育活動につながるだろう。(人権・同和教育、性教育、キャリア教育で扱う。)</p>	<p>広報活動、教育活動のあり方については、今後検討していく必要があると考えております。</p> <p>まずは教育委員会、農業委員会との連携、情報共有を行い、幅広い問題の啓発に努めていきます。</p>
13	<p>町民等に何を求めるのか具体的に判れば浸透するのではないか。</p>	<p>目に見えるわかりやすい広報を心掛け、男女共同参画社会のあるべき姿を町民へ浸透できるよう努めたいと思います。</p>
14	<p>別添の県内近隣団体の施策の方向性一覧によると、㉘職場と育児等家庭生活両立への環境整備(ワークライフバランスを含む。)、㉙長時間労働削減等働き方改革(男性中心型労働慣行是正)、㉚職場におけるハラスメント防止に○がついていないのが気になる。</p>	<p>㉘、㉙については、重点目標に掲げていないが、理念としてはあがっており、他の事業を実施することによって間接的に成り立つものとなっております。</p> <p>㉚に関しては、事業では取り組んでいませんが、広報などで今後啓発等に取り組んでいく予定です。</p>